



▲御前崎村警防団竹やり訓練の様子（昭和18年頃）



教科書に載っていない

# 御前崎の戦争史



終戦から73度目の夏を迎えました。小学1年生だった人もすでに80歳となり、戦争を知らない世代が大半を占めています。御前崎の地も戦争の被害を受けたことは、言うまでもありません。その一方、73年の年月が流れ、戦時中に、ここ御前崎で起きたことを詳しく知る人が少なくなっていることも事実です。尊い犠牲の上に今の平和があります。今回は、私たちのまちの戦争の記録と記憶を振り返り、平和を継承していくことについて考えます。

## 全国民を巻き込んだ太平洋戦争

1941年12月8日、日本軍がハワイ真珠湾に奇襲攻撃を仕掛け、太平洋戦争が勃発しました。「国家総動員法」により、全ての人や物的資源は、政府に「もの」のように扱われました。嫌だと言ったこともできず、出征したり、軍需工場へ働きに出たり。「お国のためだ」と言っって心を殺して、全員が国に尽くしました。

国民の働きとは裏腹に、日本はどんどん追い詰められていきました。日本の戦意を失わせるため、広島と長崎に原爆が投下され、一瞬にして何十万という命を奪い、まちをさら地にししました。